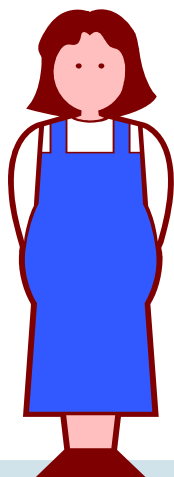


確定的影響と時期特異性



重要な器官が形成される時期
= 薬の使用に気をつける時期
= 放射線にも弱い時期



着床前期
受胎0-2週
・ 流産

器官形成期
受胎2-8週
・ 器官形成異常
(奇形)

胎児前期
受胎8-15週
・ 精神発達
遅滞

胎児後期
受胎15週
～ 出産

しきい値は0.1グレイ以上

※一般的に妊娠2週目と呼ばれている時期は、妊娠直後の受胎0週(齡)に相当します。